

4年ぶりに対面式で開催！新鮮な海の幸をお得な価格で販売！

問 銚子市漁業協同組合 ☎(22) 3200 水産課 ☎(24) 8936

▶日時 10月7日(土) 8時～12時(売切次第終了) ▶会場 銚子漁港第1卸売市場(飯沼町) ※ペット同伴不可

近くに駐車場がありません。臨時巡回バスをご利用ください

各停留所の時間など詳しくはこちら>>>



《臨時巡回バス停留所》 運行時間 6時から13時20分ころまで

市役所まなびの城前、銚子駅前、第2卸売市場西側、第2卸売市場製氷工場前、第3卸売市場前、巡視船かとり見学会場前

市長コラム 98

【沖縄への中学生派遣】

銚子市長 越川 信一

昭和59年に「非核・平和都市」を宣言した銚子市。平和教育事業として8月、中学生を沖縄へ派遣した。参加したのは銚子中の齋藤新さん(3年)、濱仲娃乎さん(2年)、石井杏奈さん(2年)、菅谷龍聖さん(1年)の4名。市民寄付を基に平成25年から始まったこの事業も今回で8回目だ。

「ひめゆりの塔」「沖縄県平和祈念資料館」「旧沖縄陸軍病院」などを見学。糸満市役所では、平和の語り部として活動する中学生2名・高校生2名と「次の世代に伝えたいこと」などについて意見交換を行った。戦争体験者が高齢化する中、糸満市では沖縄戦の記憶を次の世代へ継承するため、子どもたちの「平和の語り部育成事業」を実施。沖縄

戦や平和について学び、修了した子どもたちが「平和の語り部」となって戦争遺跡を案内しているという。帰銚子の市長報告会ではそれぞれが感想を述べた。

○慰霊碑に亡くなった方一人一人の名前が刻まれているのを見て、失われた命の重みが肩にのしかかってくる感覚を覚えた

○戦時中はみんなが死を覚悟してしまうほど追いつめられていて、そのときの状況を想像するとつらい

○戦争の記憶がどんどん薄れていき、昔の辛さを知らない人が多くなる。一人でも多くの人に学んだことを伝えられるように頑張りたい

○当時の様子を思い浮かべ、今の自分が置かれている平和な環境にもっと感謝しなければ

戦後78年。戦争の記憶の風化が危惧される中、中学生の柔らかな感性で戦争や平和を見つめ、考え、その思いを素直に語り合っている。これからの平和のために！そんな願いを込めた平和教育事業を「非核・平和都市」として継続していきたい。